

◇「夜須アドベンチャーウォーク」内容解説資料

別紙（引率者用）

①【小さなステージ】

ブロックを並べて作られた小さな正方形の上に、グループ全員が乗り、10秒間1人も落ちずにいられるかという課題。片足で乗ったり、仲間の体を支えたりするなどの工夫と協力が必要。初級と上級がある。

②【トラストウォーク】

先頭になる生徒以外はタオル等で目隠しをして、前の生徒の肩につかまり一列をつくる。決められた距離を一列のまま歩く。先頭の生徒以外は視界が遮られているため、先頭の生徒の声かけが重要となる。信頼関係を高める課題。

③【レッドカウンター】

決められた位置から見える森の中に、幹に赤いテープが巻いてある木が複数本あり、それをグループ全員で数える課題。木の重なり具合などで1つの場所からでは確認できないものもあるため、グループでの話し合いが必要不可欠となる。

④【How long】

コース内にある、土管から土管までの距離を測る課題。メジャー等の道具を持っていないため。歩幅等の身体で測らなければならない。各自で計測して、最終的には話し合いで決定する。

⑤【登った先には？】

コース内の緩やかな斜面に生えている木にロープが巻き付けられており、そのロープをたぐって、木までの斜面を登る課題。また、ロープは8本あり、たどりついたそれぞれの木の裏側には文字が一文字書かれており、それぞれの文字を並べ替えて言葉を作る。役割分担と話し合いが必要不可欠となる。

⑥【満員電車おりまーす】

地上に置かれたブロックの上に一列になってグループ全員が乗り、一人も落ちないようにして並び替わる課題。個人のバランス感覚とともに、体を支え合ったり、体勢を工夫するなどの発想と協力が必要。

⑦【鳥の視点で】

一定の範囲内に赤いテープが巻いてある木が4本、青いテープが巻かれた木が3本あり、それぞれの色のテープをつないでいった形（星座のように）を想像し、それを空から見ると何に見えるかを考える課題。

⑧【森の声を聞け】

林道が一番深い静かな場所で耳を澄まし、どんな音が何種類聞こえるかを問う課題。

⑨【大声チャンピオン】

林道を抜けた小高い見晴らしのよい場所で大声を出し、返ってくるやまびこの数を数える課題。グループ内で一番声が大きな生徒が活躍。

⑩【ターザンの休息】

木と木の間に張られたハンモックに一人ずつ全員が乗る課題。不得意な生徒は両側から仲間に支えてもらうなどの協力が必要。

⑪【つなげる】

コース上にある2本の木の間をグループのメンバー全員でつなげる課題。木の感覚は約15mほどあり、ただ手をつなぐだけでは届かないため工夫が必要。体勢を考えたり、服やタオルをつかうなどの工夫が必要。

⑫【測量技師】

コース途中の広場（ほぼ長方形）の面積を考える課題。広いのでグループで分担して測る。